

近世京焼の研究

A5判・430頁・定価 6,615円(税5%込) ISBN978-4-7842-1558-4



色絵雪松図平皿

近世の京焼、すなわち桃山時代から江戸時代末まで京都で焼かれたやきものの窯業的な変遷を、文献史料と出土資料によって明らかにし、そこに野々村仁清・尾形乾山・奥田穎川・仁阿弥道八など京焼の名工たちの生涯と作品を位置づけ、近世京都の特質を明確にした。名工たちの陶業を産業としてとらえ、技術の系譜や産業的な展開、受容層のあり方、流通・市場の動向などの視点から京焼陶工の実態やその作風、あるいは京焼の通史を見直した一書。



色絵秋草文徳利

内容目次

序章 「京焼」研究史をめぐって

幕末の「京焼」/殖産興業策のなかの「京焼」/名工研究の進展/戦後の「京焼」研究へ

第1部 「京焼」の創始と諸国のやきもの

第1章 京焼の黎明

—軟質施釉陶器の時代—
天正期の「今ヤキ」/関西出土の軟質施釉陶器/慶長期の「今ヤキ」の展開/「京ヤキ」の登場

第2章 桃山から江戸時代初期の茶陶流通と京都

瀬戸物屋の情景/古田織部と三条の瀬戸物屋たち/瀬戸物屋から唐物屋へ

第2部 京焼窯場の成立と仁清

第3章 登窯の導入と

内窯窯場の展開
登窯の導入と十七世紀の京焼窯場/内窯窯場の展開

第4章 京焼の茶入

京焼茶入の評価/栗田口焼の茶入/文献にみる御室焼茶入/御室焼茶入の実相

第5章 京焼のなかの高麗茶碗

京焼と国焼の高麗茶碗/御室焼高麗茶碗の諸相

第6章 京焼のなかの御室焼

—仁清色絵茶碗を中心に—
御室焼の展開/仁清の茶碗/仁清の色絵

第3部 京焼の展開と乾山

第7章 前期清水焼の諸相

茶碗屋清兵衛窯の盛衰/清水寺と清水焼

第8章 京焼色絵の展開

—いわゆる「古清水」をめぐって—
出土資料にみる窯業生産の展開/十七世紀後期の京焼色絵/京焼色絵の変容

第9章 京焼のなかの乾山焼

乾山焼の創始/鳴滝窯の乾山焼/二条丁字屋町の「焼物商売」/乾山様式の継承

第4部 後期京焼の諸相

第10章 後期京焼の胎動

栗田口焼の展開/清水・五条坂の展開/京焼と信楽焼

第11章 後期清水焼の変遷

清水焼の復興/清水焼窯場の拡大/十九世紀の清水焼

第12章 京焼における復古と創造

奥田穎川と初代清水六兵衛/仁阿弥道八の乾山復興

第13章 京焼陶工と国焼

京焼陶工たちの系譜/京焼陶工の下向/京焼と国焼

終章 まとめてかえて

概要/総括

おか よしこ… 1954年福岡県生、1981年京都女子大学大学院文学研究科修士課程修了、京都市社会教育振興財団職員、京都市歴史資料館嘱託を経て、現在、大手前大学総合文化学部教授、2008年博士(芸術学 筑波大学)。
【主要著書】『寛永文化のネットワーク—「隔莫記」の世界』(共編著、思文閣出版、1998年)、『国宝 仁清の謎』(角川書店、2001年)、『窯別ガイド 日本のやきもの 京都』(淡交社、2003年)。

思文閣出版

〒606-8203 京都市左京区田中関田町2-7 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	近世京焼の研究	本体6,300円(税別)	ISBN978-4-7842-1558-4	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)				書店番線印

隔葉記

[全7巻／本篇6冊・総索引1冊]

本篇：赤松俊秀校訂／総索引：『隔葉記』研究会編

鹿苑寺住持鳳林承章による寛永12(1635)年から寛文8(1668)年までの自筆日記で、近世文化揺籃期の社会相を知る最重要史料を活字化。承章の交際範囲にともない、その内容はきわめて広範で、17世紀中ごろの政治・経済・社会はもとより、文芸や芸能においても必読。

▶A5判・総5130頁／定価 73,500円 ISBN4-7842-1311-2

寛永文化のネットワーク 『隔葉記』の世界

冷泉為人監修／岡佳子・岩間香編

『隔葉記』を通して近世文化のルネサンスと呼ばれる寛永文化の華やかな展開を重層的にとりあげる。「ひと・つどう」「あそびと場」「もの・かたる」の3つテーマに各10篇ずつ収録。カラー24頁のほか挿図多数。

▶B5判変・340頁／定価 3,990円 ISBN4-7842-0945-X

金森宗和茶書

茶湯古典叢書 四

谷晃校訂

底本には金沢市立図書館藤本文庫所蔵の『茶道の書ホ』を使用。校合には陽明文庫蔵の『金森茶道故実』を用い、陽明本と国会本(流布本)の追加分は別途収録。流布本の一つ藤本文庫蔵『宗和流茶湯書』にみられる付箋と朱書書込・墨書書込も該当箇所に掲げた。

▶A5判・490頁／定価 13,125円 ISBN4-7842-0944-1

※茶書の研究・茶人の研究

[全2冊]

末宗廣著作集

茶人であり、目利きでもあった著者は同時に近代的茶道史研究の先駆者でもあった。秘庫に蔵せられた茶書を探り、膨大な数の茶人を記録し、茶道史研究に文献史学の方法を導入、新しい領域を切りひらいた著者の60余年の研究業績を集成。

▶菊判・総1450頁／定価 30,450円 ISBN4-7842-0240-4

※陶器全集

[全4巻]

加藤唐九郎 他編

昭和6年に陶器研究・鑑賞界で望み得る最高の執筆者をむかえ、はじめて陶磁の世界に近代研究の光をあてた不滅の名著である。初版(宝雲舎刊)の再刊にあたっては、第一線で活躍中の研究者により一部改訂を加え、全巻に新たに索引を付した。

▶A5判・総2900頁／定価 38,850円 ISBN4-7842-0207-2

京都 芸能と民俗の文化史

山路興造著

八坂神社のおけら詣りで正月が明け、節分、春の盛りの大念仏会、夏の祇園祭、秋の盆……芸能史研究の第一人者が、祇園御霊会や大念仏狂言、六斎念仏、賀茂社の御戸代神事、盆踊りなど京都の芸能民俗史の歴史的事態を、資料のなかで検討しなおす。

▶A5判・368頁／定価 7,875円 ISBN978-4-7842-1484-6

伝統産業の成立と発展 播州三木金物の事例

桑田優著

兵庫県三木市の伝統産業、三木金物は近世後期に勃興し、現在にいたっている。本書は、流通機構の発達など社会的な背景にも着目し、三木金物が特産品として全国市場へ進出してゆく過程を跡付ける通史。

【目次】三木金物の成立と発展／地場産業勃興と社会文化の発達
▶A5判・300頁／定価 6,825円 ISBN978-4-7842-1523-2

みやこの近代

丸山宏・伊従勉・高木博志編

「近代の歴史都市としての京都」についての基本的な諸問題を多角的に論じようと開かれた京都大学人文科学研究所「近代京都研究会」。そこで論じられたさまざまな分野の具体的な主題をもとに近代現代の京都の根本問題を見通す視座を形成しようとする試みの85篇。

▶A5判・268頁／定価 2,730円 ISBN978-4-7842-1378-8

隔葉記 総索引

『隔葉記』研究会編

『隔葉記』全6巻の膨大な情報を索引として刊行。人名(8000)・事項(8000)・社寺名(550)・地名(500)に分けて編集。人名索引は別称・異称・官位官職・寺院名・姻戚・師弟関係・居住地や鳳林・校注者の誤り等を併記。事項索引には陶磁器・園芸・建築・書画などの諸分野の項目を収録。

▶A5判・760頁／定価 14,700円 ISBN4-7842-1312-0

茶譜 [全2冊 本文・資料篇] 茶湯古典叢書 五

谷晃・矢ヶ崎善太郎校訂

近世茶書として最も大部にして体系的なものの一つである茶譜(全18冊)は利休・織部・遠州・宗和・宗且のそれぞれの茶匠とその時代の茶の湯を確かな情報に基づいて茶の湯の分野ごとに再編集したもの。西尾市岩瀬文庫蔵本を底本とし現存する諸本と校合して全編活字化。

▶A5判・総924頁／定価 21,000円 ISBN978-4-7842-1528-7

古田織部茶書 [全2冊] 茶湯古典叢書 二・三

市野千鶴子校訂

利休の高弟・七哲の一人で織部流茶道の開祖である古田織部の茶道秘書を集成。巻(一)は「宗甫公古職へ御尋書」及び「古田織部正殿聞書」の2篇を収録し、巻(二)は「織部百ヶ条」「織部茶会記」「教奇道次第」「古織茶湯記」「古織伝」「茶之湯六宗伝記三」の6篇を収録。

▶A4判・(一)370頁／定価 6,510円・(二)442頁／定価 8,610円

公家茶道の研究

谷端昭夫著

近世における「公家茶道」を取り上げ、その独自の形態、実態と特徴、茶道史における位置づけを考察し、茶が持つ文化の内実を深める。

【目次】第1章：公家茶道への序章／第2章：公家茶道への道／第3章：公家茶道の形成／第4章：流儀化と伝授

▶A5判・394頁／定価 6,825円 ISBN4-7842-1265-5

釜の歴史と鑑賞

木下桂風著

釜に関する書籍は決して少なくないが、正史としてみるべき釜史がない中で、釜の製作および鑑定に権威者であった大西浄長翁の家宝である釜図録や釜師諸氏所蔵の古文書類を比較検討して釜師評伝を編纂、昭和28年に上梓したものの復刻。釜図版111点、釜形図96点掲載。

▶A5判・368頁／定価 3,675円 ISBN4-7842-0239-0

※花洛(みやこ)のモード きものの時代

京都国立博物館編

京都国立博物館特別展図録の増補決定版。「きもの」の美とはなにか、桃山から江戸時代を通じて服飾の中心となった「きもの」に焦点をあて、当時ファッションの発信地であった京都で人々が何を装い、どのような美を求めたかを豊富な図版を通してその諸相をあかす

▶A4判・550頁／定価 26,250円 ISBN4-7842-1072-5

真継家と近世の鋳物師

笹本正治著

鍋・釜などの製造者であった鋳物師と下級公家であった真継家との関係や地方の鋳物師の組織と実態を通して、近世における公家と職人の関係を明かし、職人史と公家研究に寄与する一書。【目次】鋳物師を支配する真継家／各地の鋳物師と真継家／各国の鋳物師組／資料編

▶A5判・580頁／定価 11,340円 ISBN4-7842-0899-2

近代京都研究

丸山宏・伊従勉・高木博志編

歴史都市・京都は近代に大きく変わったまちであった——。京都という都市をどのように相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加し切磋琢磨した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代京都研究」の成果。

▶A5判・628頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1413-6

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。